

山口・坂下・川上地区女性懇談会議事録

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 平成 22 年 2 月 9 日（火曜日） 19 時 00 分 ～21 時 00 分 |
| 開催場所 | 山口公民館 |
| 出席者 | 市民： 50 名（坂下 22、山口 18、川上 10） 行政：大山市長、近藤文化スポーツ部長、鎌田坂下総合事務所長、張山山口総合事務所長、井口川上総合事務所長、林地域振興局長、鎌田坂下企画振興課長、古井坂下生活福祉課長、三尾坂下基盤整備課長、牧野山口地域福祉課長、内木川上地域福祉課長 |

■司会者等あいさつの概要

- ・市長をはじめ関係部長の皆様のご出席ありがとうございます。

■市長あいさつの概要

・今年度はブロック開催（山口・川上・坂下地区）ということで、坂下中学校区での開催で、その関係地区から女性の皆さんにお集まりを頂き大変意義があると考えます。日頃は、男性役員がまちづくりを進めていることが多いので、女性の意見を反映するためにも女性の視点からのご意見をお願いします。今話題となっております新図書館建設のお話をスライドにてホットな考え方をお伝えします。読書を活発にするという方向を定めておりますので、その点も併せて文化スポーツ部長よりご説明を致します。

■新図書館建設説明（文化スポーツ部長）

パワーポイントによる説明 約 10 分

■市出席者自己紹介

■懇談内容（司会：山口 ●●さん 補佐：坂下 ●●さん）

| 発言者 | 発言要旨 | 対応者 | 対応(回答)の内容 |
|-------------------|---|--------------------|---|
| ・男性による介護について | | | |
| 山口 ●●さん | ・自分の家庭の経験から高齢の独身男性が親の介護をしている。限界がある。情報がない。適切な支援、軽減が得られないか。 | 市長 山口総合事務所長 | ・恵那市と合同で介護シンポジウムを約 10 年間開催してきた。各種事例などを聞くなから地元になじんでいる家庭はそのような苦労に対して良い方向に向いている傾向がある。調査をして当人の苦労を確認しながら次のステップを確認していきたい。 ・民生委員、在宅介護支援センター、ケアマネージャーなどキーマンとなる方に当事者の考えを把握していただき、次の展開に結び付けていただきたい。 |
| ・産婦人科復活と児童館希望について | | | |
| 坂下 ●●さん | ・坂下病院の産婦人科復活を希望する ・若いお母さん達が不安や悩みを話し合える児童館的な施設があるといい。 | 市長 | ・全国的な傾向である医師離れ、医師不足がある。自ら病院に関連のある大学へ年 20 回ほどお願いに行っているが大学自体も医師不足の状態。しかしながらお願いを続けるしかない。また、地元開業医にも市の取り組みとしてお願いしていく。 ・子育てにつきまちは、ご指摘の通り子育てのノウハウや情報交換をするというのは大変大切なこと。旧市内では校区に 1 か所を基本として設けているが遠くて大変、点在している。またこれを地区に増やすことは大変である。現在、教育委員会で |

| | | | |
|--------------------------|---|----------------|---|
| | | 山口 ●●さん | <p>近くのクラブや公民館を利用してふれあい館（坂本地区）として地元の協力を得て老人とのふれあいの場などを提供し大変評判がよい。身近な施設を利用して集まることのできる取り組みとして児童館に代わる施設としたらどうか。</p> <p>・山口では、公民館を利用して夏休みに交替で子供を見守る組織が出来ている。公民館を拠点としている。</p> |
| <p>・関連：助産師動向と電子カルテ共有</p> | | | |
| 坂下 ●●さん | <p>・坂下病院で助産師として勤務していた方の動向など紹介。助産師仲間での内輪の話であるが、現在の坂下病院での電子カルテを共有して妊婦健診が出来るようにならないのか。産後の安定を見て坂下病院への転院等を提案したい。</p> | 市長 | <p>・有資格者の意見を聞きお力をお借りしたい。その様な組み立てをして行きたいと直感的に感じた。そうすることで、方向性ができ坂下周辺の方々の負担軽減につながる。また近くの施設の有効利用にもなる。もう少し詳しく組み立てていきたい</p> |
| <p>・道路のお願い</p> | | | |
| 川上 ●●さん | <p>・道路のお願い3点したい。一つ目は坂下病院を出てくる相沢のT字交差点の事故が多いので信号の設置を希望。二つ目は矢渕のコメリ前の信号を感知式に変更希望。三つ目は田瀬から小野沢付近追い越し禁止区域の指定道への希望(凍結関係含む)</p> | 坂下総合事務所長 市長 | <p>・地元の意見等を確認して協議します。</p> <p>・なぜ事故が多いのか、警察との協議が必要。また専門的な意見も聞きながら検討します。信号の感知式については、市内全域で考えると、まだ未設置の個所のことを考えると優先的にも難しい部分がある。</p> <p>・追い越禁止区域については、これは冬場の話になりますが、周辺の状況で道路に隣接している山の間伐等していないことから、日光が当たるようにしていくなど、木漏れ日作戦と言っているが地元の山の持ち主、森林組合等にも協力をお願いしたい。</p> |

| ・イベント助成と住宅の家賃について | | | |
|-------------------|---|--------------------|---|
| 坂下 ●●さん | <ul style="list-style-type: none"> ・商工会活動で坂下地区では部員も減り厳しい状況である。イベントでもなかなかおわらない。補助金、支援の継続をお願いしたい。 ・市営住宅の家賃のことで、市内中心部でも旧町村の郡部でも家賃が変わらないので、地域格差を付けてほしい。 | 市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントに対する助成金が逆効果にならないよう事後評価をして一律な助成にはしないようにする。坂下では、椈の湖そば祭り、還暦マラソン、与三郎祭り等熱心にやっていただきイベント上手な感じを受けている。川上ではもみじまつりで地元の参加意欲が強くボランティア的である。山口は五平祭で大変金がかかっている。タレントの経費などに助成金が使われている。いずれにしても、情報公開的に皆様の声を聞き判断をして頂き助成により効果あるものは、意義ある方向へ向きたい。 ・住宅の家賃については、内容により家賃形態に格差がある。同じレベルでの内容等確認しながら内容を調べて回答させたい。 |
| ・バス停の屋根と巡回バスの時間 | | | |
| 坂下 ●●さん | <ul style="list-style-type: none"> ・坂下の総合体育館前のバス停について、川上方面には屋根付きバス停であるが山口方面へはそれがないので、設置を希望。 ・巡回バスの時間帯について、朝は高校生の通学及び電車の時間のためか、早すぎて小中学生には利用しにくい。高校生の利用状況を聞きたい。 | 市長 坂下総合事務所長 | <ul style="list-style-type: none"> ・バス停の屋根については、地元の協力により計画して進めていきたい。 ・巡回バスについては、坂下地区はかなりの費用がかかっており恵まれている状態であるが、全市的な課題として考えていきたい。 ・現在コミュニティバスを計画中で、互助交通、ボランティア、公用車の空き車両の利用など市全体の中で考えている。 ・バス停の屋根については、本来事業者が設置するものですが、地元の間伐材を利用するなど、補助事業を活かして考えたい。 |
| ・少子化について | | | |
| 山口 ●●さん | <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科の件も含めて、少子化について女性の気持ちの変化とか子供、少子化について心や気持ち、子育て等について全体で話す機会を設けて頂きたい。 | 市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・女性のサイクルというか5つのステージが順調に行くことが少子化対策になると考えます。市では企画部少子化対策課を設置しその課が窓口ですので、計画するよう考えていく。 |

| ・市出身者への奨学金制度について | | | |
|------------------|-----------------------------------|----|--|
| 山口 ●●さん | ・産婦人科の問題から、医師確保にむけ市出身者への奨学金の制度を希望 | 市長 | ・現在医学生、看護学生について奨学金制度は始めているが、出身者とは限定してなく、公募により行っている。将来は地元での就職が前提であるが、医師については大学のからみからして中々難しい部分がある。医師確保については、全国市長会の折厚生労働省幹部との懇談の折にお願いもしております。これは市政の問題だけでなく県政、国政においての問題でありますので、市民の声を届けていただきたい。 |

■市長総括

・この地域でもそれぞれ違いがあることを感じていただいたことと思います。しかしながら基礎的サービスは足並みを揃え、また従来町村時代からの個性は大切にしながら市全体一体感で行い、地域づくり、まちづくりを行っていきたい。今日は介護から医療の問題等の提案やご意見をいただき回答もしていきました。言いつばなし、聞きつばなしのないようにし取り組んでまいります。冒頭に申しましたように、地域総合事務所が地域の身近な目となり耳となり行政の専門家として考え解決策を実行に移していける力強い事務所としていく必要があります。86,000人の大きな地域になりました。地域が元気であって頂きたい。地域総合事務所を活用してください。

■開会

司会者閉会あいさつ